

——・学校で学ぶ ・家庭で生きる ・地域で創る これが上鷺宮 ——



# 上鷺宮

「自然といのちを守る学校」

[http:// nk-kamisagi-e. a. la9. jp/](http://nk-kamisagi-e.a.la9.jp/)

開校42年

No.467

令和2年度

学校だより 7月号

中野区立上鷺宮小学校

校長 堀 聡明

TEL 3926-6381

## 変わらないもの

副校長 松久保 雅和

1年生の算数の授業で、  
「10個の卵の内、2個の卵がひよこになったら残りの卵  
はいくつですか。」

すると一斉に手が挙がります。

写真をご覧ください。これが、学校で学ぶ挙手です。



今般のコロナ禍で学習のオンライン化が進んでいます。学校も大きく様変わりするのではないかと、との見方もテレビ等で報道されています。このことは今の時代に合った進展と捉えることができます。情報化が進むこれからの時代に対応していかなければならないことは言うまでもありません。しかし、時代を超えて変わらない価値のあるものも学校には多くあります。豊かな人間性や正義感や公正さを重んじる心、自らを律しつつ他の人と協調し思いやる心、人権を尊重する心を育むことはいつの時代、どこの国の教育においても大切にしなければならないことです。また、確かな学力と健やかな体を育むことも大事な役割の一つです。確かな学力とは、基礎的・基本的な知識や技能を身に付け、自ら課題を見つけ、自ら学び、自ら考え、主体的に判断し、行動し、よりよく問題を解決することができる資質や能力のことです。健やかな体とは、たくましく生きるための健康や体力のことです。これら普遍的な力を身に付ける場が学校です。

挙手を例に挙げました。この一つをとっても身に付けることが重要だと改めて感じています。挙手をした児童は発言をしたいから手を挙げます。さらに、発言を聞いて別の考えが浮かび、挙手が増えていきます。この繰り返しによっていつの間にか児童は発言する力を高めているのです。自らを主張することはこれからの国際社会を生きていくには欠かせません。

一斉登校が始まって半月が経ちました。3か月に及ぶ臨時休業で学校生活のルールを忘れてしまった、体力が落ちたという児童もいます。子どもたち一人一人の日頃抱えている不安を解消しつつ、安心して学ぶ場を提供していきます。

7月の生活目標

身の回りをきれいにしよう